

臓器移植センター

■ スタッフ

センター長 水野 修吾
 副センター長 西川 晃平 (腎移植担当)
 種村 彰洋 (肝移植担当)
 レシピエント移植コーディネーター 浦和 愛子
 渡部 小央里
 (医師数 併任 3名)
 (看護師数 専従 2名)

■ 部門の特色

臓器移植センターは、当院が脳死肝移植認定施設となったことを契機に2010年7月に発足しました。院内における移植医療の問題を集約化し、移植医療の発展と充実を図ることを目的に院内の各部門との横断的な協力体制のもと、臓器移植希望者、臓器提供待機者及び臓器移植実施者等の医学的、社会的及び精神的なサポートを行っています。

1. 業務

臓器移植センターは、次のような業務を行っています。

- 1) 心臓死・脳死体又は生体に係る臓器移植に関する事。
- 2) 臓器移植症例発生時の対応に関する事。
- 3) 院外への摘出チームの派遣に関する事。
- 4) 関連機関との連絡・調整に関する事。
- 5) 本院における臓器移植の体制整備に関する事。
- 6) 院内外への普及啓発及び職員教育に関する事。
- 7) 臓器移植に係る調査及び報告に関する事。
- 8) その他臓器移植に関する事。

2. 運営連絡会議

運営連絡会議では、三重大学医学部附属病院臓器移植センターに関する事について検討しています。

- 1) センターの業務に関する事項。
- 2) センターと各診療科等及び関係諸機関との連絡調整に関する事項。
- 3) その他センターに関する必要な事項。

■ 活動実績

肝移植実績については肝胆膵・移植外科ページをご参照ください。

腎移植実績については腎泌尿器外科ページをご参照ください。

2020年度活動実績

肝移植新患者	14件
腎移植新患者	11件
肝移植数	1件 (うち脳死肝移植0件)
腎移植数	6件 (うち献腎移植0件)

(2020年4月1日～2021年3月31日)

■ 活動内容(レシピエント移植コーディネーター)

レシピエント移植コーディネーターは生体臓器移植・死体臓器移植時に以下の活動を行っています。

1) 生体臓器移植

- ・生体ドナーコーディネーターとして活動
- ① 提供者条件の確認：移植希望の生体腎移植・肝移植ドナー条件の説明と確認
- ② 家族面接：ドナー家族およびレシピエント家族の面談
- ③ 臓器提供の承諾手続き：臓器提供・移植承諾手続き
- ・レシピエント移植コーディネーターとして活動
- ① レシピエント条件の確認(データベースの作成等)：移植待機者の検査や情報収集の実施
- ② レシピエントの面接：コーディネーター面談の実施。心理面接・心理検査の調整。長期入院中のレシピエント家族の面談・IC同席
- ③ 移植に関する意思確認と承諾手続き：移植承諾手続き
- ④ 退院後の感染・食事等日常生活、チューブ管理、服薬管理指導の実施：移植後患者の免疫抑制剤変更、社会資源の利用等について面談・電話相談・メール相談

2) 死体臓器移植時：

- ・脳死肝移植登録作業/Inactive作業/取り消し作業
- ・献腎移植登録作業/取り消し作業
- ・摘出チームのコーディネーターとして活動
- ① 家族への説明と意思確認・承諾書の管理
- ② 臓器についての医学的検査の手配
- ③ 摘出チームとの調整
- ④ ドナーの状態評価
- ⑤ 臓器の運搬など、臓器摘出から移植終了までの全プロセスがスムーズに行われるよう調整
- ⑥ ①～⑤の状況について各部署に連絡

3) 心理的ケアと社会復帰援助

- ① レシピエントとレシピエント家族への精神的ケア：臓器移植センター精神科合同カン

ファレンス開催(1回/月)。臨床心理士・精神科医・移植医と随時情報交換を行い、患者への対応を検討。必要時、面談実施。

- ② 生体ドナーと生体ドナー家族の精神的ケアの実施。
- ③ 社会復帰への援助：外来診療時に移植後の就職活動など社会復帰状況の情報収集実施。移植待機者の生活指導を実施。
- ④ ドナー家族の精神的ケア(サンクスレターの配布)：サンクスレターの記入方法についてレシピエントとその家族に説明。

4) 院内移植事務局

- ① 移植相談窓口・外来との連携：外来通院患者からの24時間メール・電話対応。
- ② 腎移植外来・肝移植外来受診の患者の状況把握と健康相談・日常生活指導・服薬指導。
- ③ 移植希望者の登録の受付：脳死肝移植登録。先行的献腎移植登録。献腎登録。
- ④ 日本臓器移植ネットワークとの連携：随時連絡・調整。
- ⑤ データ整備：肝移植・腎移植希望者、臓器提供待機者及び移植実施者のリスト更新。
- ⑥ 普及啓発活動：リーフレットの補充、ポスター掲示。
- ⑦ フォローアップ病院との連携：診療情報提供書送受信。

5) 教育・研究

- ① 病院教職員に対する講習会等の開催：病棟勉強開催、参加。資料作成時のアドバイス。
- ② 病院教職員と協働して調査・研究等を含む対外的な活動：看護研究。他院からの調査やアンケートの回答。

6) データ管理

- ① 臓器移植希望者、臓器提供待機者及び臓器移植実施者等リスト更新
- ② 肝移植WEB登録
- ③ 肝移植CYP3A5結果ファイリング
- ④ 重要書類管理(心理検査原本等)

7) 会議

- ① 看護の質管理委員会
- ② 精神科・臓器移植センター合同カンファレンス
- ③ 腎移植栄養カンファレンス
- ④ 肝移植院内適応評価委員会
- ⑤ 腎移植院内適応評価委員会
- ⑥ 三重県移植コーディネーター会議(年4回開催)
- ⑦ 移植施設会議

- ⑧ JOTNW・脳死肝移植適応評価委員会合同会議

8) 事務作業

- ① 日誌
- ② 勤務調整
- ③ 倫理委員会の書類提出
- ④ 雇用や検診、予防接種、ポスター展示等
- ⑤ 臓器移植ネットワーク(全国、中日本支部、三重県)との連携(脳死肝移植登録、追跡調査等)
- ⑥ 移植学会との連携(調査研究協力等)
- ⑦ 脳死肝移植適応評価委員会との連携(適応評価申請等)

■ 活動体制

レシピエント移植コーディネーターは、24時間体制で緊急移植時および移植後患者体調不良時に電話連絡・メール対応等の活動を行っています。

2012年度の診療報酬改定により、移植後患者管理指導料が算定可能となり、2013年度より当院でも本管理料の算定を開始いたしました。

■ 今後の展望

ホームページの充実を図り、臓器移植に関する情報の発信やパンフレットの転載、患者家族および紹介病院への情報提供に努めます。さらに、肝移植患者家族会の開催や腎移植患者家族会の発足に向けて計画を進めていきます。

そのほか、現行の精神医学的評価手順を見直し、難渋症例における移植治療の妥当性を評価するための第三者評価のさらなる質の向上を目指した運用を進めていきます。

臓器移植センターは移植医療に係る情報を院内ならびに地域に発信し、移植医療の正しい情報や知識を地域社会へ普及できることを目指しています。認定レシピエント移植コーディネーターを取得したため、患者・家族の身体的・精神的・社会的な支援の充実を図るとともに移植医療に携わる職員間の情報交換や連携を強化し、移植医療のさらなる発展と充実に向けて主体的かつ積極的な取組みを続けていきます。

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/>(ホームページ)